

シンフォニー

第 **34** 号
2016年 9月 September

発行/医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 編集/広報委員会
〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522 TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112 http://www.shmc.jp

特集

Feature Articles

身近な人を守るために！
（二次救命処置）
全職員でのBLSの
取り組みについて

BLS (Basic Life Support)

は心肺停止の人に対して行う
一次救命処置です。胸骨圧迫
（心臓マッサージ）とAED
（体外式除細動器）で救える命
があることは、皆さんも耳にし
たことがあるかと思えます。

質の高い胸骨圧迫とAEDの早期使用が救命には欠かせません。命
をつなぎ、社会復帰を目指すためには、倒れた現場に居合わせた人
が速やかにBLSを行うことが必要です。

心肺停止の判断は一般の方には難しいと思います。最新の研究で
は、呼びかけに反応がなくて正常な呼吸がないときは（不規則な、い
びき呼吸やあえぎ呼吸があっても）、心肺停止と考えて救命処置を
開始すべきであると示されました。勇気をもって行動することで、大
切な人を救える可能性があります。

当院では以前から行っていた入職時のBLS講習会と並行して、
今年1月から毎月全職員対象のBLS講習会を開催しています。
この講習会では、『BLSの行動化』『質の高い胸骨圧迫』を目標に、
「音楽を用いて楽しく体で覚えること」を心がけています。

院内で急変が生じてても、院内応援医師が駆けつけるまで職員が迅
速に対応できるように、また、職員が自宅や地域の場で予期しない
急変に遭遇したときに対応する力を身につけるために全職員が学
習しています。

全職員で共通の講習会を通して、顔の見える関係づくりも広がって



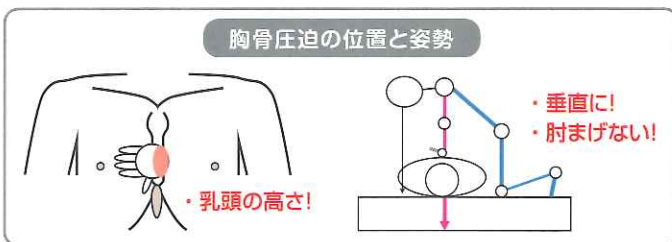
救急委員会・BLS部会
救急科医師 望月礼子



肘を曲げないのがコツ



AEDの出番です



【救命の連鎖】

1. 心肺停止の予防
2. 急変の早期認識と通報（119番通報、AEDを持ってきてもらう）
3. 胸骨圧迫開始、迅速なAED装着
4. 二次救命処置への引継ぎ（医療機関）



「BLS講習会をやっていて、良かった！」
臨床検査技師 滝田太郎さん

先日、スーパーの駐車場で1歳位の子
供の意識消失事例に遭遇しました。救
急車を呼んでという叫び声があるので
駆けつけると、ぐったりとして呼吸も定
かでない状態。直ちにAEDを持って
きてもらい、装着し胸骨圧迫の必要がないことが確認でき、
その後嘔吐にも回復体位で対応し、救急隊に無事引継ぐこと
ができました。BLS講習会をやっていてよかったです！

きました。今後もよりよい病院体勢、および社会貢献を目指して全職
員が質の高いBLSを行えるよう、講習会を継続していく予定です。
最後に院内BLS講習会のインストラクター職員との体験談を紹
介します。

救急科



救急科 部長 岩田健司

患者様をたらい回しすることなく、
断らない救急を目指し努力しています。



救急医療は一次(軽症)・二次(入院手術加療を要する)・三次(重症、高度専門医療を要する)救急に分かれています。当院はさいたま市の二次救急医療機関であり、主に二次・二次救急を担当しています。

当院の救急科は、平成25年8月に設立し、救急搬送の受け入れを強化してきました。現在は常勤医師3名体制での救急診療を行っています。3名の医師すべてが救急科専門医であり、救急搬送が多数となつた場合でも断ることなく受け入れることができます。また、緊急処置が必要な重症患者様でも迅速な対応が可能です。平成27年7月に移転し、救急外来の診療スペースは大きく拡張され、救急スタッフもさらに増員しています。救急の強化として、また一歩前進した体制を構築することができました。それに伴い、救急搬送件数も大幅に増加し、移転後は年間6000台を超えるペースで救急車の受け入れを行っております。

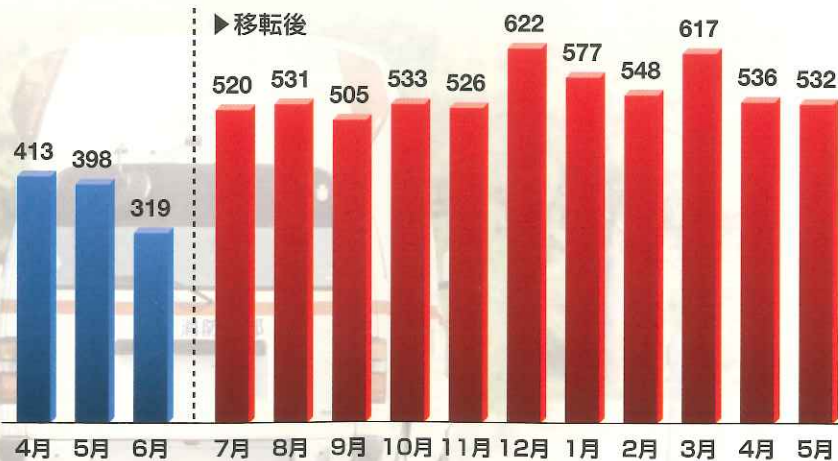
主な診療内容としては、内科・外科問わず救急搬送された患者様の初期対応を行います。必要に応じて早期に治療を開始し、入院を要すると判断した場合は各診療科の医師に引き継ぎます。帰宅可能な患者様については、処置まで救急科で担当し、その後に外来通院が必要な場合は、当院の外来もしくはご希望の病院や診療所に紹介させていただきます。3名の救急科専門医がそれぞれの得意分野を生かした診療をしています。今後さらに救

急診療を充実させ、受け入れを強化していく予定です。

院内での活動として、全職員を対象とした心肺蘇生法の指導など、教育にも力を注いでおります。

社会問題でもある、救急患者のたらい回しをなくし、断らない救急を目指し努力しています。また、患者様に満足していただける診療ができるよう、常に心がけていきたいと思っております。

■平成27～28年度の救急搬送件数(件)





よりよい病院をめざして

機能評価を終えて

公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を7月12・13両日に受審致しました。これは第三者機構が公平に病院の評価・採点を行うものです。当院としては3回目となりますが、彩の国東大宮メディカルセンターとしては初めての受審です。

外観が綺麗になったのに中身が伴わないのでは困ります。個人的にはテストや成績表をつけられる事は好きではないのですが、病院機能評価受審は診療内容を

を今よりもさらに一層良いものにしてゆくチャンスでもありました。今までも診療の質を大事にしてきましたが、これを契機に改善すべき点を見つけることを出来たのが何よりでした。

一般的には高度急性期医療を提供する病院はどこか親しみのない冷たいイメージがありますが、これはおそらく他職種間で密な連携がとられておらず、個々の職員の認識も不十分であるがために生じているのだと思います。今回、病院機能評価を受審することで、準備期間に多くの職員からより良い病院にしたいと思う気持ちを感じることができました。この気持ちを継続してゆくことで、温かい高度急性期医療を提供することが出来ると考えます。病院機能評価受審は実際の診療内容を評価するだけでなく、職員の気持ちや考え方も新たにしてくれました。これを大切に、周辺地域の皆様により良い急性期医療で貢献出来ると考えております。



整形外科 部長
岡田恒作



受けてみませんか？ 乳がん検診

※当院は日本乳癌学会関連施設です。

今までの乳がん検査に行ったことのない方、最近忙しくて行っていない方等、日曜日に受診出来るこの機会に「乳がん検診」を受けてみませんか…？

10月は乳がん月間です。

J.M.S(ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)は子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に病院に行けない女性の皆様が、休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、全国の医療機関とNPD法人J.POSHが協力して毎年10月第3日曜日に乳がん検診マンモグラフィー検査を受信できる環境づくりへの取り組みです。

今年は **10月16日 日曜日**

乳がん検診の最大のメリット

「早期発見での小さながんは命を脅かすことはありません」

乳がん検診で期待できる最大のメリットは、早期発見で見つかる小さな乳がんはほとんど命を脅かすことはありません。早期発見なら乳房を温存するなど、自分の希望する手術法や治療法を医師と相談して選択できます。また、入院期間や再発防止の治療期間なども短いので経済的負担も軽くすることが期待できます。

乳がんが「見つかること」が怖いことではなく、「知らないまま」でいることが怖いことなのです。あなた自身の身体と生活を守り、あなたを愛する人たちを悲しませないために、「自分でできること」と「ちょっと勇気があればできること」を知り、乳がん検診を是非うけましょう。

完全予約制ですので、お申し込みはコチラから

【予約・受診受付時間】：9時～17時(月～金)
9時～12時(土)

彩の国東大宮メディカルセンター 予防医療センター

TEL 048-665-6210 (直通)

※お掛け間違いのないようご注意ください。

患者教室のご案内

(ミニセミナー)

9月のスケジュール

27日(火) 糖尿病教室「最近の運動療法について」

10月のスケジュール

14日(金) 摂食嚥下障害ってなに?
 19日(水) 貧血予防の食事
 20日(木) おしこの薬
 25日(火) 糖尿病教室
 「介護施設に行ったらどうなるの?」

11月のスケジュール

17日(木) インフルエンザワクチン
 22日(火) 糖尿病教室「糖尿病性眼合併症と薬局」
 24日(木) 医療用麻薬は怖くない

12月のスケジュール

2日(金) 三大疾患の1つ!脳血管障害の予防
 15日(木) 肩こりと薬
 20日(火) 糖尿病教室「クリスマス会」
 21日(水) かぜ予防の食事

平成28年度

さいたま市住民健康診査のご案内

定期的に健康診断の受診はされていますか?
 年に一度、この機会にさいたま市健診の受診をお勧めします。
 実施期間:平成28年4月27日(水)～平成29年3月11日(土)

※予約制となりますので、事前にご連絡ください。

予防医療センター直通

☎048-665-6210

数字アラカルト

(平成28年4～7月平均)

入院稼働率・・・86.6%
 1日平均入院患者数・・・291.8人
 平均在院日数・・・14.5日
 1日平均外来患者数・・・653.5人
 救急搬送件数・・・542件/月
 手術件数・・・271件/月
 紹介患者数・・・920件/月

交通案内図



JR
 宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン
 「土呂駅」東口より 徒歩約11分

東武アーバンパークライン
 「大宮公園駅」より 徒歩約9分

自動車
 首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分
 東北自動車道「岩槻」ICより 約21分



早いもので、新築移転からあっという間に1年が経ちました。7月中旬には日本医療機能評価を受審し、無事終えることができました。

今後も初心を忘れず、更なる向上を心がけ、皆様に質の高い医療を提供できるよう努力していきたいと思っております。



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522

TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112

彩の国東大宮メディカルセンター

検索